

【著者紹介】

## 市川喜崇（いちかわ よしたか）

1963年、信州松本に生まれる

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程修了、博士（政治学）

福島大学行政社会学部専任講師、助教授、同志社大学法学部助教授を経て、

現在、同志社大学法学部・法学研究科教授

〔主要業績〕

「都道府県の性格と機能」新川達郎編『公的ガバナンスの動態研究』（ミネルヴァ書房、2011年）

「市町村総合行政主体論と『平成の大合併』」寄本勝美=小原隆治編『新しい公共と自治の現場』（コモンズ、2011年）

「分権改革はなぜ実現したか」日本政治学会編『政府間ガバナンスの変容』（木鐸社、2008年） ほか